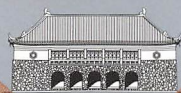




館蔵品展

彩り伝わる 文様の世界

2011年10月1日(土)～12月18日(日)



公益財団法人 大倉文化財団
大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)
TEL 03-3583-0781
<http://www.shukokan.org>

アメリカ大使館

大倉集古館

ホテルオークラ東京
本館

ホテルオークラ東京別館

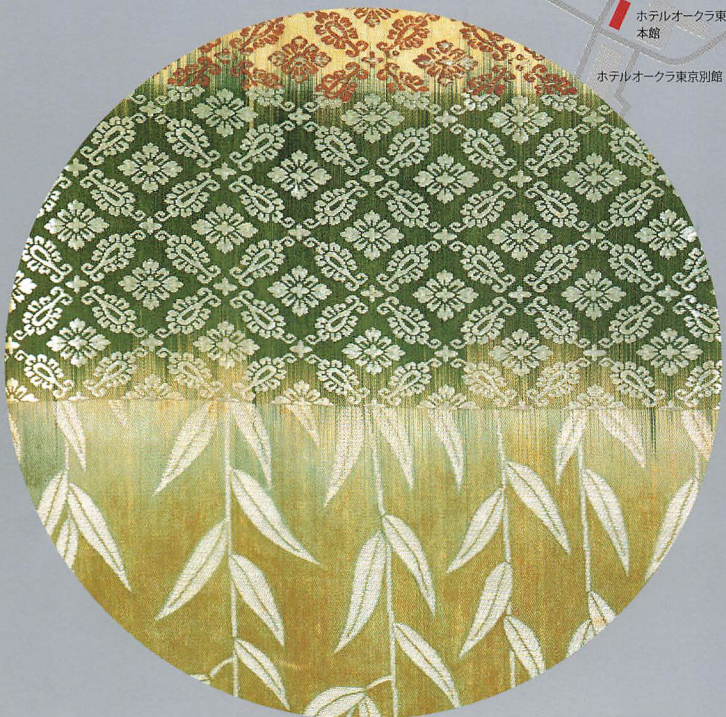
休館日：月曜日(10月10日は開館)
開館時間：10:00～16:30(入館は16:00まで)
料金：一般 800円

大学・高校生・65歳以上 500円

中学生以下 無料

20名様以上の団体 100円引き

土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師 無料



私達の生活において日常用いている道具類や服飾など、見渡してみるとあらゆるものが豊かなデザインや彩りによって飾られていることに気付かれます。そしてこれらの意匠を構成する文様には、遙か古来より伝わる心が生きています。

大陸からもたらされ、我が国へ迎えられた様々な装飾が宮廷の装束や調度にも転用され、やがて日本の美意識に則した典雅な形へと昇華し広く愛好されていった有職文様。さらに独自の文化を反映させて、身近な自然や詩歌などに題材を求め発展した芦手絵などの様式。また慶賀の祈りから生まれた吉祥文も人々の生活に根付いたように、それらは時代と共に洗練されながら、粋や洒落といった感性とも通じて成熟していきます。

本展ではこのように享受され育まれていった文様の世界をテーマに、能装束など工芸品に絵画作品を合わせ、其々の文様が語りかける声に耳を傾けていきたいと思ひます。

主な展示品 会期中展示替を行います 都合により出品の予定が変更になる場合もあります

狩野元久筆「人物花鳥扇面画帖」 桃山時代・16世紀

狩野周信筆「寿老人・鷹図」 江戸時代・18世紀

「網代に葡萄図」 江戸時代・17世紀

「扇面散らし図」 江戸時代・18世紀

小川破笠筆「六歌仙図」 江戸時代・18世紀

芦手時絵香合 鎌倉時代・13世紀

重要文化財 長生殿時絵手箱 鎌倉時代・13-14世紀

源氏香図及木印 江戸時代・19世紀

能装束 茶地浮線綾模様狩衣 江戸時代・19世紀

能装束 花色地三重襷模様狩衣 江戸時代・19世紀

能装束 紺地七宝模様法被 江戸時代・19世紀

能装束 紅地檜扇菊梅模様縫入長絹 江戸時代・18世紀

能装束 白檜垣地牡丹唐草模様舞衣 江戸時代・18世紀

能装束 茶萌葱段枝垂柳小葵模様唐織 江戸時代・18世紀

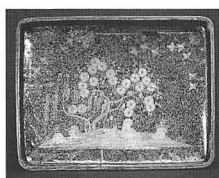
能装束 白地破菱紅葉模様縫箔 江戸時代・18世紀

能装束 白地銀籠目模様摺箔 江戸時代・19世紀

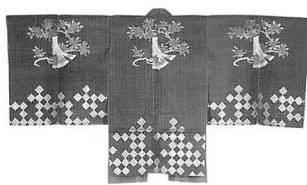
ほか



狩野周信筆「寿老人・鷹図」中幅



長生殿時絵手箱蓋裏



紫地桜短冊文三崩模様長絹

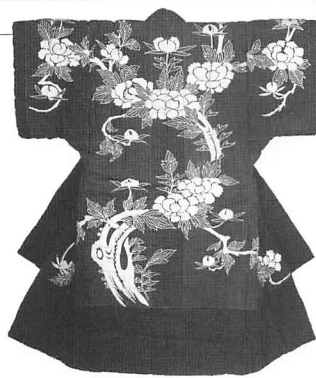
特別出品

江戸期藍染筒描作品(服部早苗氏所蔵)

「松竹梅鶴亀」1反

夜着4領

(「鳳凰」「牡丹」「水仙紋」「鶴紋」)



夜着「牡丹」

休館日：月曜日(10月10日は開館)

開館時間：10:00～16:30

(入館は16:00まで)

料金：一般 800円

大学・高校生・65歳以上 500円

中学生以下 無料

20名様以上の団体 100円引き

土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師 無料

主催：大倉集古館

協力：(株)ホテルオークラ東京 大成建設(株) 特種東海製紙(株)

ギャラリートークのお知らせ

当館学芸員によるギャラリートークを行います

日程等はお問合せください ※予約不要 展覧会入場券が必要です

併催展覧会 ※大倉集古館会場でご覧頂けます

第21回 景風展 ～草もの盆栽『山根景子個展』～

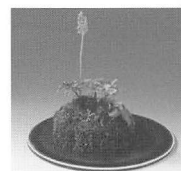
10月18日(火)～23日(日)

山根景子氏による実演

10月22日(土) 14:00～

※予約不要

展覧会入場券が必要です



併催イベント

吉川久美子 ギターコンサート

『クラシックギターの調べ～古典から近代現代音楽まで～』

日時：12月3日(土) 開場17:30 開演18:00

会場：大倉集古館 1階展示室

料金：1000円 ※要予約(展覧会入場料は含みません)

★セット鑑賞券のご案内

ホテルオークラ東京のレストラン・バーとのセットです

喫茶券 1800円/食事券 3300円

次回展示のお知らせ

特別展 蒐めて愉しむ 鼻煙壺—沖正一郎コレクション—

関連展示「大倉コレクション 中国明・清時代の美術」

2012年1月2日(月)～3月25日(日)

17世紀後半頃、嗅ぎタバコの習慣がヨーロッパから中国に伝わると、これを携行するための匙付きの小さな壺が作られるようになりました。これらは玉、瑪瑙、水晶、象牙など高価な素材を用いて、工芸技術の粋を極めた細工を施す独自の世界を生み出してゆきます。本展では沖正一郎氏が20数年をかけて蒐集した鼻煙壺の数々を展示します。併せて当館のコレクションより中国明・清時代の美術・工芸の優品を展覧いたします。



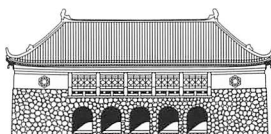
交通案内
東京メトロ

南北線 六本木一丁目駅より5分

日比谷線 神谷町駅より7分

銀座線・南北線 溜池山王駅より8分

銀座線 虎ノ門駅より10分



公益財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (ホテルオークラ東京本館正面玄関前)

TEL03-3583-0781

ホームページ <http://www.shukokan.org>